

報告書提出の会合に出席した
磯崎陽輔首相補佐官(手前左)



磯崎陽輔参院議員(大分選挙区)は政府側で「安保法制懇」に参加してきた。

「十分活用できる」

磯崎氏が報告書評価

【東京支社】 国家安全保障を担当する首相補佐官の

15日に提出された報告書について「1年3カ月以上かけて専門家が作り、内容的にも十分活用できるものでないか」と評価。「一段落だがこれがスタート地点。今度は政治の場で議論し、懇談会の苦勞に報いた

い」と意欲を示した。

憲法解釈変更による集団的自衛権の行使容認の必要性について「米国が軍事費を削減しており、日米同盟深化のためにも応分の協力が必要。東アジア情勢が厳しさを増す中、東南アジアの友好国と安全保障に関する議論をできるようになる。それが抑止力になる」と主張した。

来週から与党協議が本格化する。「公明党の山口那津男代表が言うように国民に具体的事例を示すのは同感だ。政府としても国民に対して分かりやすい事例を示していきたい」。閣議決定の時期は「期限は設けないが、与党協議の早期決着を期待する。次の臨時国会から関連法案を出していければ」と述べた。